



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月14日

上場会社名 株式会社IBJ 上場取引所 東
コード番号 6071 URL <https://www.ibjapan.jp/>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）土谷 健次郎
問合せ先責任者（役職名）執行役員 経営管理部統括（氏名）石田 明（TEL）080（7027）0983
半期報告書提出予定日 2026年8月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年12月期中間期	14,043	44.3	2,487	38.7	2,422	36.0	1,238	13.0
2025年12月期中間期	9,734	13.6	1,793	41.2	1,780	40.4	1,096	26.6

（注）包括利益 2026年12月期中間期 1,206百万円（1.5％） 2025年12月期中間期 1,188百万円（31.9％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	32.69	32.68
2025年12月期中間期	29.00	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年12月期中間期	34,536	12,813	31.8	289.26
2025年12月期	32,524	11,923	31.3	268.79

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 10,969百万円 2025年12月期 10,179百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2026年12月期	—	0.00			
2026年12月期（予想）			—	19.00	19.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日発表の「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	28,905	0.4	4,647	14.8	4,523	15.3	2,523	8.0	66.57

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日発表の「業績予想と実績の差異及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 - 社 (社名) - 除外 - 社 (社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期中間期	42,001,800株	2025年12月期	42,000,000株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	4,077,206株	2025年12月期	4,128,406株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年12月期中間期	37,890,636株	2025年12月期中間期	37,819,417株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、この四半期 (中間期) 決算短信 (添付資料) P. 4 「1. 当中間期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料および決算説明会内容の入手方法)

当社は2026年8月17日 (月) に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。なお、決算補足説明資料については、本日当社ホームページに掲載致します。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報)	11
(収益認識関係)	12

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

わが国の婚姻情勢を厚生労働省公表の「令和7年(2025年)人口動態統計(概数)」で概観すると、同年の婚姻件数は489,119組となっております。これは前年の485,092組(確定数)と比して4,027組の微増(0.8%増)となりましたが、婚姻率は4.1と低水準での推移が続いております。また、同年の出生数は過去最少の671,236人、合計特殊出生率は1.14と過去最低を更新しており、少子高齢化の進展は極めて深刻な社会課題となっております。

このような環境下において当社は、HUMAN(仲人にしかできない手厚い伴走)と、TECH(約11万名のデータとAIによる効率化)を掛け合わせることで、「Match Tech(マッチテック)」へとサービスの進化を図り、直近では年間2万組を超える成婚組数を創出しております。また、わが国においては婚姻関係にある夫婦から生まれた子どもの割合が約98%であり、婚姻数の増加が出生数の増加に直結する傾向にあることから、成婚組数の純増は国内の出生数を直接的に底支えることに繋がります。今後も、日本の重大な社会課題である「人口減少・少子化」の解決を使命として取り組んでまいります。

当中間連結会計期間における業績は、株式会社デコルテ・ホールディングスの連結子会社化による収益寄与はもとより、既存事業が順調に推移したことで、売上高及び各段階利益は前年同期を大幅に上回りました。

当中間連結会計期間の連結業績は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前年同期増減	前年同期比
売上高	9,734,294	14,043,935	4,309,641	+44.3%
営業利益	1,793,507	2,487,818	694,311	+38.7%
経常利益	1,780,945	2,422,802	641,856	+36.0%
親会社株主に帰属する中間純利益	1,096,693	1,238,779	142,086	+13.0%

また、当社グループは、当中間連結会計期間よりセグメント区分を見直しております。デコルテ・ホールディングスの連結子会社化に伴い、従来の「ライフデザイン事業」からウェディング事業およびフォト事業を分離し、新たに「ウェディング&フォト事業」を追加いたしました。

本セグメントでは、結婚相談所からアフターマリッジ領域への送客を仕組み化し、組織体制を強化しています。成婚を「新たな世帯消費のスタート」と位置づけ、人生の節目に寄り添う「ライフデザインカンパニー」としての成長戦略を推進しております。また、クロスセル率を高めることで、グループシナジーの最大化を図っております。

各セグメントの売上高及び事業利益は以下のとおりであります。

なお、事業利益は、営業利益+減価償却費+のれん償却費+長期前払費用償却費としております(内部取引調整済み)。

(単位:千円)

	売上高	前年同期比	事業利益	前年同期比
加盟店事業	1,984,726	+11.7%	1,413,245	+20.0%
直営店事業	5,093,882	+10.0%	1,347,263	+21.3%
マッチング事業	832,286	+11.8%	200,399	+14.7%
ライフデザイン事業	685,977	+19.9%	204,269	△16.0%
K Village事業	1,861,717	+11.3%	308,144	+24.4%
ウェディング&フォト事業	3,585,346	+965.2%	921,198	+1,058.9%

(注)前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成しております。

（加盟店事業）

当セグメントは、結婚相談所の開業支援、および全国の結婚相談所と会員を繋ぐ日本最大級の婚活プラットフォームを運営しております。

- ・IBJプラットフォーム内の活性化により、会員登録数109,712名（前年同期比+12.1%）、お見合い件数297,080件（同+14.3%）など関係KPIの好循環により成婚組数5,712組（同+12.1%）が順調に増加しました。
- ・開業支援ではアウトバウンド営業を強化したことにより、新規面談件数が大幅に増加、それに伴い新規開業件数は206件（前年同期比+16.4%）と順調に推移しました。

（直営店事業）

当セグメントでは、「IBJメンバーズ」「サンマリエ」「ZWEI」の3ブランドを通じ、仲人が手厚く伴走する結婚相談所サービスを自社で提供しています。

- ・ZWEIにおけるリードからの来店予約および顧客獲得率が向上し業績を牽引しました。
- ・IBJメンバーズなど直営3ブランドにおいても、新規入会者数6,616名（前年同期比+11.1%）、お見合い件数97,883件（同+12.3%）となりました。

（マッチング事業）

当セグメントは、婚活パーティーの企画・運営やマッチングアプリの提供を通じ、効率的で幅広い出会いの機会を提供しております。

- ・大型パーティーの開催や、自治体向けイベントの受託拡大に加え、メディアとの連携によりパーティー参加者数85,704名（前年同期比+14.5%）となりました。
- ・2025年10月にリリースした「IBJ online」では、新規加盟店数と会員数が順調に増加したことによって、プラットフォーム基盤が着実に拡大しマッチング数も増加しました。

（ライフデザイン事業）

当セグメントは、保険や住まいの紹介、メンズ眉毛サロンの運営など、会員の成婚前後の生活を支えるライフデザインサービスを展開しております。

- ・保険領域において継続的な顧客接点の創出により成約件数が677件（前年同期比+36.8%）となりました。
- ・GROWBING（メンズ眉毛サロン）は直営3ブランドとの連携体制をさらに深化させグループシナジーを拡大、来客件数が増加しました。

（K Village事業）

当セグメントは、日本最大級の韓国語教室やボイストレーニング教室の運営を通じ、語学やエンタメに関連する教育・文化サービスを提供しております。

- ・韓国語教室事業においてFC展開を本格化し、FC校舎数が8校舎（前年同期比+700.0%）へ堅調に推移いたしました。
- ・ボイストレーニング事業においてFC校舎数116校（同+46.8%）の拡大を背景として、生徒数が11,784名（同+56.5%）へ増加しました。

（ウェディング&フォト事業）

当セグメントは、フォトウェディング（デコルテ社）や結婚式場の紹介、お見合い写真撮影を通じ、成婚前後のイベントをトータルに支援しております。

- ・直営3ブランドからデコルテ社への送客を本格化させるとともに、全国の加盟相談所からの送客も順次開始いたしました。
- ・デコルテ社との連携強化も背景に、ウェディング事業の成約件数は504件（前年同期比+67.4%）と大幅に伸長しました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は16,052,449千円となり、前連結会計年度末に比べ、3,270,116千円増加しました。これは主に、現金及び預金が2,155,175千円、営業投資有価証券が993,865千円増加したためです。固定資産は18,484,338千円となり、前連結会計年度末に比べ1,258,011千円減少しました。これは主に、投資有価証券が827,472千円、のれんが343,472千円、使用権資産が342,956千円減少した一方で、建物が64,851千円、繰延税金資産が95,717千円増加したためです。

この結果、総資産は、34,536,787千円となり、前連結会計年度末に比べ2,012,105千円増加しました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は13,523,223千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,927,042千円増加しました。これは主に、短期借入金が1,550,000千円、預り金が1,160,015千円増加した一方で、未払費用が124,977千円、1年内返済予定の長期借入金が536,936千円減少したためです。固定負債は8,199,911千円となり、前連結会計年度末に比べ805,260千円減少しました。これは主に長期借入金が477,122千円、リース債務が345,312千円減少したためです。

この結果、負債合計は、21,723,135千円となり、前連結会計年度末に比べ1,121,782千円増加しました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は12,813,652千円となり、前連結会計年度末に比べ、890,322千円増加しました。これは主に、利益剰余金が860,063千円増加したためです。

この結果、自己資本比率は、31.8%(前連結会計年度末は31.3%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて2,051,604千円増加し、7,121,048千円でした。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動により得られた資金は、2,374,936千円(前中間連結会計期間に得られた資金は1,516,211千円)でした。主な増加要因は、税金等調整前中間純利益2,155,915千円、減価償却費653,356千円、のれん償却額343,472千円などです。主な減少要因は、棚卸資産の増加額1,003,231千円、法人税等の支払額968,276千円などです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動により使用した資金は、159,039千円(前中間連結会計期間に使用した資金は3,051,540千円)でした。主な増加要因は、投資有価証券の売却による収入371,126千円です。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出275,426千円、無形固定資産の取得による支出128,809千円、敷金及び保証金の差入による支出106,532千円などです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動により使用した資金は、161,271千円(前中間連結会計期間に得られた資金は1,099,738千円)でした。主な増加要因は、短期借入れによる収入6,800,000千円、長期借入れによる収入360,000千円などです。主な減少要因は、短期借入金の返済による支出5,250,000千円、長期借入金の返済による支出1,374,058千円などです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月13日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「業績予想と実績の差異及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,935,131	7,090,307
売掛金	2,761,120	2,815,495
営業投資有価証券	4,281,168	5,275,034
商品及び製品	16,182	19,902
仕掛品	93,779	112,181
原材料及び貯蔵品	6,907	7,751
前渡金	7,313	5,557
前払費用	517,638	580,413
1年内回収予定の長期貸付金	4,333	10,000
預け金	148,236	43,236
その他	39,227	122,599
貸倒引当金	△28,704	△30,031
流動資産合計	12,782,332	16,052,449
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,005,962	4,133,140
減価償却累計額	△1,819,249	△1,881,574
建物(純額)	2,186,713	2,251,565
車両運搬具	52,281	49,865
減価償却累計額	△28,694	△31,874
車両運搬具(純額)	23,587	17,990
工具、器具及び備品	1,172,346	1,183,582
減価償却累計額	△824,173	△858,900
工具、器具及び備品(純額)	348,173	324,682
土地	1,703,883	1,711,597
リース資産	43,967	44,443
減価償却累計額	△36,962	△39,351
リース資産(純額)	7,005	5,092
使用権資産	5,523,500	5,232,981
減価償却累計額	△1,580,476	△1,632,914
使用権資産(純額)	3,943,023	3,600,066
有形固定資産合計	8,212,386	7,910,994
無形固定資産		
のれん	4,895,462	4,551,990
ソフトウェア	563,979	583,356
ソフトウェア仮勘定	6,235	8,982
その他	47	23
無形固定資産合計	5,465,724	5,144,353
投資その他の資産		
投資有価証券	2,064,166	1,236,694
長期前払費用	140,237	128,964
長期貸付金	41,500	109,780
繰延税金資産	944,613	1,040,330
保険積立金	292,602	292,602
差入保証金	2,574,368	2,613,866
その他	6,750	6,750
投資その他の資産合計	6,064,239	5,428,989
固定資産合計	19,742,349	18,484,338
資産合計	32,524,682	34,536,787

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	528,059	554,268
短期借入金	2,460,000	4,010,000
1年内返済予定の長期借入金	1,817,116	1,280,180
未払金	1,099,000	933,893
未払費用	1,083,969	958,991
未払法人税等	982,554	890,390
未払消費税等	373,802	424,939
前受金	1,018,284	1,071,421
預り金	1,449,338	2,609,353
リース債務	617,137	627,684
資産除去債務	36,973	-
有給休暇引当金	68,305	68,683
賞与引当金	-	9,619
その他	61,637	83,796
流動負債合計	11,596,180	13,523,223
固定負債		
長期借入金	4,727,622	4,250,500
リース債務	3,102,600	2,757,287
資産除去債務	1,167,213	1,180,545
その他	7,736	11,578
固定負債合計	9,005,172	8,199,911
負債合計	20,601,352	21,723,135
純資産の部		
株主資本		
資本金	699,585	700,460
資本剰余金	937,276	933,853
利益剰余金	11,047,313	11,907,377
自己株式	△2,384,213	△2,339,070
株主資本合計	10,299,961	11,202,620
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△120,380	△232,634
その他の包括利益累計額合計	△120,380	△232,634
新株予約権	51,304	54,019
非支配株主持分	1,692,443	1,789,646
純資産合計	11,923,329	12,813,652
負債純資産合計	32,524,682	34,536,787

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	9,734,294	14,043,935
売上原価	868,431	2,289,111
売上総利益	8,865,862	11,754,824
販売費及び一般管理費	7,072,355	9,267,005
営業利益	1,793,507	2,487,818
営業外収益		
受取利息	1,691	14,962
補助金収入	1,455	6,400
持分法による投資利益	68,178	-
その他	2,979	9,467
営業外収益合計	74,304	30,829
営業外費用		
支払利息	20,227	87,535
投資事業組合運用損	439	-
有価証券評価損	60,737	-
その他	5,461	8,310
営業外費用合計	86,866	95,846
経常利益	1,780,945	2,422,802
特別利益		
投資有価証券売却益	-	247,659
資産除去債務戻入益	647	-
その他	-	7,404
特別利益合計	647	255,064
特別損失		
固定資産除却損	17,101	1,941
投資有価証券評価損	-	515,359
その他	-	4,650
特別損失合計	17,101	521,951
税金等調整前中間純利益	1,764,492	2,155,915
法人税、住民税及び事業税	532,693	864,759
法人税等調整額	63,185	△44,826
法人税等合計	595,878	819,933
中間純利益	1,168,613	1,335,981
非支配株主に帰属する中間純利益	71,919	97,202
親会社株主に帰属する中間純利益	1,096,693	1,238,779

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	1,168,613	1,335,981
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,741	△129,732
その他の包括利益合計	19,741	△129,732
中間包括利益	1,188,355	1,206,249
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,116,435	1,109,047
非支配株主に係る中間包括利益	71,919	97,202

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,764,492	2,155,915
減価償却費	297,659	653,356
のれん償却額	96,671	343,472
長期前払費用償却額	6,044	3,513
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,142	1,326
賞与引当金の増減額 (△は減少)	19,897	9,619
受取利息	△1,691	△14,962
持分法による投資損益 (△は益)	△68,178	-
支払利息	20,227	87,535
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△247,659
固定資産除却損	17,101	1,941
有価証券評価損益 (△は益)	60,737	515,359
投資事業組合運用損益 (△は益)	439	△317
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,709	△54,569
前渡金の増減額 (△は増加)	17,817	1,756
預け金の増減額 (△は増加)	5,695	1,428
預り金の増減額 (△は減少)	513,075	1,160,015
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△595,195	△1,003,231
仕入債務の増減額 (△は減少)	87,700	26,208
前受金の増減額 (△は減少)	△40,929	71,631
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△239,232	△252,255
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△113,436	51,137
その他	86,730	△94,191
小計	1,937,059	3,417,031
利息及び配当金の受取額	1,691	14,922
利息の支払額	△21,204	△88,740
法人税等の支払額	△401,335	△968,276
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,516,211	2,374,936
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△121,383	△275,426
無形固定資産の取得による支出	△132,550	△128,809
投資有価証券の取得による支出	△1,671,196	△13,961
投資有価証券の売却による収入	200,000	371,126
貸付けによる支出	-	△74,780
貸付金の回収による収入	999	833
敷金及び保証金の差入による支出	△456,126	△106,532
敷金及び保証金の回収による収入	29,547	68,439
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△900,819	-
その他	△9	71
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,051,540	△159,039

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	-	1,204
短期借入れによる収入	2,700,000	6,800,000
短期借入金の返済による支出	△2,000,000	△5,250,000
長期借入れによる収入	900,000	360,000
長期借入金の返済による支出	△282,329	△1,374,058
配当金の支払額	△301,920	△378,446
リース債務の返済による支出	△3,603	△319,971
その他	87,590	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,099,738	△161,271
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,841	△3,020
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△439,431	2,051,604
現金及び現金同等物の期首残高	4,373,834	5,069,443
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,934,403	7,121,048

(4) 中間期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント							調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	加盟店事業	直営店事業	マッチング 事業	ライフデザイ ン事業	K Village 事業	ウエディング & フォト事業	計		
売上高									
一時点で移転 されるサービ ス	923,884	1,533,739	441,904	280,611	547,164	336,603	4,063,907	—	4,063,907
一定の期間に わたり移転さ れるサービス	853,447	3,097,581	302,552	105,012	1,125,318	—	5,483,912	—	5,483,912
顧客との契約 から生じる収 益	1,777,331	4,631,320	744,457	385,623	1,672,483	336,603	9,547,820	—	9,547,820
その他の収益	—	—	—	186,474	—	—	186,474	—	186,474
外部顧客への 売上高	1,777,331	4,631,320	744,457	572,098	1,672,483	336,603	9,734,294	—	9,734,294
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	87,350	28,726	56,320	2,946	—	873	176,217	△176,217	—
計	1,864,681	4,660,047	800,777	575,044	1,672,483	337,477	9,910,511	△176,217	9,734,294
セグメント利益	1,151,048	949,149	134,605	207,690	204,988	62,896	2,710,378	△916,871	1,793,507

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他の収益」は、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)に基づく金融商品に係る取引及び「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号2007年3月30日)に基づく不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当中間連結会計期間において、株式取得に伴い株式会社GROWBINGを連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、「ライフデザイン事業」セグメントで812,621千円であります。

II 当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント							調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	加盟店事業	直営店事業	マッチング 事業	ライフデザイ ン事業	K Village 事業	ウエディング & フォト事業	計		
売上高									
一時点で移転 されるサービス	998,585	1,725,200	541,046	442,589	516,242	3,585,346	7,809,010	—	7,809,010
一定の期間に わたり移転さ れるサービス	986,140	3,368,682	291,239	67,049	1,345,474	—	6,058,587	—	6,058,587
顧客との契約 から生じる収 益	1,984,726	5,093,882	832,286	509,639	1,861,717	3,585,346	13,867,597	—	13,867,597
その他の収益	—	—	—	176,337	—	—	176,337	—	176,337
外部顧客への 売上高	1,984,726	5,093,882	832,286	685,977	1,861,717	3,585,346	14,043,935	—	14,043,935
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	112,914	32,458	50,360	15,059	—	27,268	238,060	△238,060	—
計	2,097,640	5,126,341	882,646	701,036	1,861,717	3,612,614	14,281,995	△238,060	14,043,935
セグメント利益	1,380,544	1,203,351	145,737	142,747	267,049	265,890	3,405,320	△917,502	2,487,818

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他の収益」は、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)に基づく金融商品に係る取引及び「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号2007年3月30日)に基づく不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントは、当中間連結会計期間より、株式会社デコルテ・ホールディングスの連結子会社化に伴い、これまで「ライフデザイン事業」に含めていたフォト事業の重要性が増したことから、セグメント区分を見直しております。これにより、従来の「ライフデザイン事業」からウエディング事業及びフォト事業を分離し、新たに「ウエディング&フォト事業」を報告セグメントとして追加しております。なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区別により作成したものを記載しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報)」に記載のとおりであります。